

令和3年度伊豆沼・内沼自然再生事業関連活動実績

運営事務局

令和元年度に策定した全体構想及び県の事業実施計画に基づき、下記の活動を行った。

今年度は、昨年度にも増して新型コロナウイルス感染症の感染が拡大したことから、感染防止の観点等から、主に非対面形式で打合せを開催した。引き続き、打合せや協議会を含め実施方法等を工夫していきたい。

月日・名称・場所	主な内容												
4月13日(火) 自然再生事業に関する打合せ (非対面形式)	<p>1 ハス刈り払いについて</p> <p>令和2年度に隣接した地点(一部重複)に関する協議</p> <p>○付近にカラスガイが生息。刈払いで開放水面を確保し、酸欠を防止。 ○昨年度の刈払い地点でハスの回復傾向あり、重複により開放水面の着実に確保。</p>												
6月16日(水) 自然再生事業に関する打合せ (宮城県伊豆沼・内沼 サンクチュアリセンター)	<p>1 エコトーン造成について</p> <p>【エコトーン造成方針】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>規模</th> <th>時期</th> <th>効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小規模造成</td> <td>5ha</td> <td>～2029年</td> <td>目標生物種の定着</td> </tr> <tr> <td>大規模造成</td> <td>90ha</td> <td>～2060年</td> <td>目標生物種の安定的な生息</td> </tr> </tbody> </table> <p>【エコトーン創出による水質改善】</p> <p>○砂質化による栄養塩類等溶出の抑制 ○抽水植物の分布域増による巻き上がりの抑制</p> <p>2 水質検討調査について</p>	内容	規模	時期	効果	小規模造成	5ha	～2029年	目標生物種の定着	大規模造成	90ha	～2060年	目標生物種の安定的な生息
内容	規模	時期	効果										
小規模造成	5ha	～2029年	目標生物種の定着										
大規模造成	90ha	～2060年	目標生物種の安定的な生息										

<p>1月12日(水)</p> <p>第17回自然再生協議会 に向けた打合せ (登米市役所, 栗原市役所, 宮城県伊豆沼・内沼サン クチュアリセンター)</p>	<p>1 Web会議への対応について</p> <p>○Web会議開催における対応等について, 運営事務局で確認・共有 (出欠確認方法, 傍聴・報道対応, 通信トラブル時の対応 等)</p> <p>○各会場設備や会場レイアウト等について共有</p> <p>2 ワイズユース部会について</p> <p>○ワイズユース部会考え方や今後の方針等について打合せを実施</p>
<p>2月5日(土)</p> <p>第17回自然再生協議会 (ウェブ/対面開催)</p>	<p>報告・協議事項</p> <p>○令和3年度伊豆沼・内沼自然再生事業等について</p> <p>○令和4年度事業計画案について</p>